

2003年12月



防盜性に優れた家庭用金庫  
「ホームピタガラス」

寝室を簡易なパニックルームにする  
「ストロングドア」

センサー一体型の防犯ガラス  
「SECOMあんしんガラス」

家庭用安全システム  
「セコム・ホームセキュリティ」

わが国初の「顔検知機能」を内蔵した  
トータル画像監視システム  
「セキュリティフェースインターホン」

家庭用監視カメラシステム  
「セコム・ホームカメラシステム」

顔を確認できないとチャイムが鳴らない設定も可能な  
「セキュリティフェースインターホン」子機

指紋照合による出入管理システム  
「セサモIDS」

センサー内蔵のスチール製面格子  
「セキュリティ面格子」

### “家庭用安心システム”が本格始動

セコムは、急増する空き巣・強盗などの犯罪からお客様を守るために、「SECOMあんしんガラス」セキュリティフェースインターホン」などのさまざまな防犯機能を強化したサービス・商品をいち早く充実。今後も家庭の不安感解消のために、「セコム・ホームセキュリティ」を中心に“家庭用安心システム”として本格的に始動していきます。

# We are SECOM.

セコムグループの目標

「社会システム産業」の構築

新生セコム5カ年構想の2年目

ビジョン

## Originate New SECOM

新生セコムへの第二の創業

理念

## We are SECOM

セコムカルチャーの透徹

2003年度運営方針

## 大いなる躍進の年

# 株主のみなさまへ



株主のみなさまには、日頃よりセコムグループの活動にご支援をたまりまして、誠にありがとうございます。

2003年度中間期の連結売上高は2,466億円(前年同期比3.1%増収)、営業利益は374億円(前年同期比10.2%増益)、経常利益は352億円(前年同期比10.1%増益)、中間純利益は179億円(前年同期比12.9%増益)となりました。

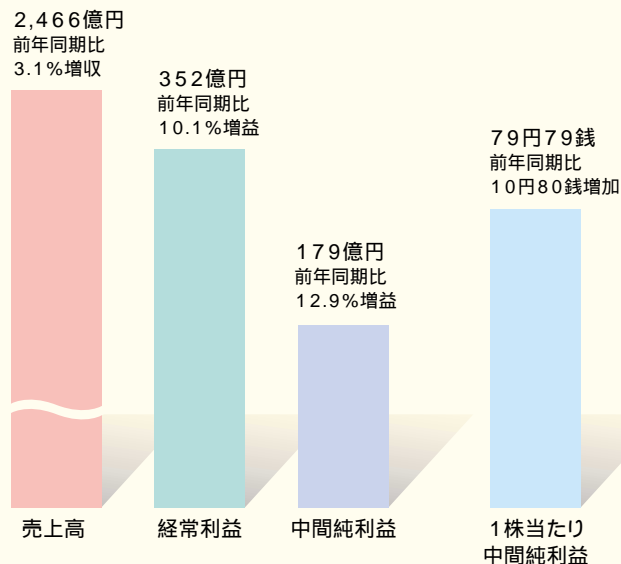
同じく単体の売上高は1,419億円(前年同期比3.3%増収)、営業利益は324億円(前年同期比11.3%増益)、経常利益は325億円(前年同期比7.9%増益)、中間純利益は196億円(前年同期比11.2%増益)となり、連結および単体いずれも中間期において過去最高となる成果を収めました。

今後も、社会のニーズにいち早く対応して“あらゆる「不安」のない社会”を実現するために、企業目標である「社会システム産業」の本格展開に向け、グループの総力を結集してまい進いたしますので、なお一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

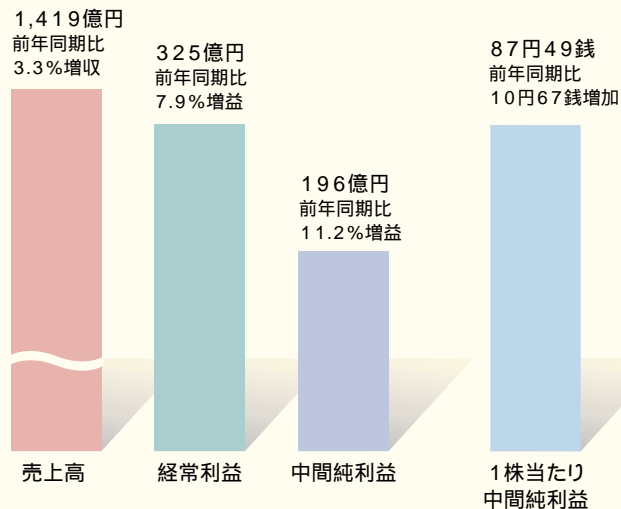
2003年12月

セコム株式会社代表取締役社長 **本村 昌平**

## 2003年度中間期の業績(連結)



## 2003年度中間期の業績(単体)





# “あらゆる「不安」のない社会」の実現



代表取締役社長 木村 昌平

「新生セコム5カ年構想」を掲げて組織を牽引する木村社長に、セコムグループの「2003年度中間期の連結業績」「社会不安への対応」「今後の展望」について聞きました。

**Q** セコムグループの2003年度中間期の経営成績および通期の見通しについて概括をお願いします。  
売上高・営業利益・経常利益・純利益の  
いずれも過去最高を更新

当中間期におけるわが国経済は、株式市場や設備投資に改善の兆しが現れたものの、個人消費や雇用環境は依然として厳しく、本格的な景気回復には至りませんでした。そうした状況の中で、私たちセコムグループは引き続き、「社会システム産業」の本格展開に向けて社会のニーズに応えた新サービス・新商品の開発・提供に努めるなど、積極的に事業を推進しました。

その結果、2003年度中間期の連結売上高は2,466億円、前年同期比3.1%の増収と中間期の過去最高となりました。また、営業利益は374億円、前年同期比10.2%の増益、経常利益は352億円、前年同期比10.1%の増益、純利益は179億円、前年同期比12.9%の増益と、いずれも過去最高益を更新しました。

これを事業別に見ると、セキュリティサービス事業の売上高は1,790億円、前年同期比3.9%の増収、メディカルサービス事業は104億円、前年同期比11.2%の増収、保険事業は144億円、

# に向けて

前年同期比24.1%の減収、情報・通信・その他の事業は427億円、前年同期比11.4%の増収となりました。なお、保険事業は、中間期より取引の実態をより適切に表示するため、積立保険の満期返戻金相当額を売上高および売上原価に計上しないようにしたことから減収となったものです。

セコム単体の業績は、売上高が1,419億円、前年同期比3.3%の増収、営業利益が324億円、前年同期比11.3%の増益、経常利益が325億円、前年同期比7.9%の増益、純利益が196億円、前年同期比11.2%の増益と、いずれも中間期の過去最高となりました。

## セキュリティ事業やメディカル事業が好調なことから 2003年度通期の連結業績も好成績を予想

通期の連結業績については、引き続き主力のオンラインセキュリティシステムを中心としたセキュリティサービス事業、在宅医療サービスを中心としたメディカルサービス事業の更なる伸長が見込まれることから、売上高5,319億円、営業利益821億円、経常利益772億円、当期純利益406億円と予想しています。

セコム単体については、売上高2,890億円、営業利益620億円、経常利益600億円、当期純利益348億円と、すべて過去最高を見込んでいます。

なお、この予想には将来に関する前提・見通し・計画に基づく

予測が含まれており、実際の業績がさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があることをお断りしておきます。

**Q** このところ家庭向けの新サービス・新商品を矢継ぎ早に発売していますが、その背景は何でしょうか。

## 巧妙化・凶悪化する犯罪、増える徘徊高齢者と 子供の誘拐、広がる健康不安

年々、社会不安が高まり、安全・安心ニーズが強まっていることが挙げられます。

その不安は、一つには窃盗・強盗事件の急増と検挙率の低下から生じています。ピッキングに代表される巧妙な犯罪や、人がいるときに押し入り、危害を加える凶悪な犯罪が増えているにもかかわらず検挙率が低下していることから、人々は不安を募らせています。

一方、世界に例のない高齢化社会の進展に伴って増えているお年寄りの徘徊、あるいはこのところ顕著になってきた健康不安、さらには頻発する子供の連れ去りなども不安要因として人々の心に影を落としています。

このため、私たちセコムグループは、これらの不安を解消する新しいサービス・商品を矢継ぎ早に開発し、世の中に送り出してきました。

## 家庭にセキュリティと医療サービスを一体的に提供する 「セコム・メディカルクラブ」を開始

たとえば、窃盗・強盗対策として、監視カメラと外周センサーを組み合わせて侵入者を感知し、現場の映像をセコムの画像センターで監視、異常時には緊急対処員の急行や110番通報を行う「ホームカメラ連動画像監視サービス」、わが国初の「顔検知機能」を内蔵したインターホンと「ホームカメラシステム」を一体化し、不審者が否かを的確に判断できる「セキュリティフェースインターホン」。また押し込み強盗から家族を守る物理的防護システムとして、破壊されにくい防犯合わせガラスにセンサーを一体化し、ひびが入った瞬間にセコムに通報する「SECOM あんしんガラス」、センサーを内蔵し強化処理を施したスチール製面格子「セキュリティ面格子」、在宅時・就寝時に侵入されても危害にあわないように寝室の扉を強化した「ストロングドア」などを、「セコム・ホームセキュリティ」を強化する商品として販売しています。

一方、高齢者の徘徊や子供の誘拐、車両盗難などに対応しているのが、位置情報提供サービス「ココセコム」です。これは発見と犯人逮捕に威力を発揮し、今では金庫やATM(現金自動預払機)、電動自転車、ペットにまで用途が広がっています。

また、高まる健康不安に対応して、11月から「セコム・ホームセキュリティ」のご契約先に、「家庭の安全」と「家族の健康」を一体的に提供する「セコム・メディカルクラブ」を開始しました。



これは「予防医療関連サービス」「救急医療関連サービス」「医療機関・専門医などの紹介サービス」の提供を柱とするサービスで、すでに電話健康相談、人間ドック紹介、医療機関情報の検索の各サービス、インターネットによる健康度チェック、心電図伝送サービスなどを提供しています。

**Q** いま、セコムグループがめざしていること(中期ビジョン)についてお話しください。

## 事業融合によって新たな付加価値を創造し、 新しい121世紀型産業を創り出す

私たちセコムグループの中期ビジョンは、「事業融合による新たな成長」を果たすことです。これまで、安全・安心を提供し、便利で健康・快適なサービスを個別に提供してきましたが、今後はそれらのサービスの融合化を図り、トータルなサービスとして提供していくことを目標にしています。

その事業融合はすでに部分的には進んでいます。たとえば、セキュリティ事業と保険事業では、オンラインセキュリティシステム

を利用されているお客様は危険度が低いために保険料を安くした「火災保険セキュリティ割引」があります。メディカル事業と保険事業では、セコム損害保険のガンを治すための自由診療保険「メディコム」があります。これまでは新しいガン治療法が出てきても公的健康保険の対象外のため、自由診療保険で受けようとしても多額の費用がかかって大多数の人が受けられず、新しい治療法の普及も進まないという問題がありました。そこで、ガンの種類に応じて最適な治療を行う病院をお客様に紹介し、かかった費用すべてをセコム損害保険が補償する、全く新しい保険を創りました。

セキュリティ事業とメディカル事業では、前述の「セコム・メディカルクラブ」があります。家庭の安全・安心は、防犯・防火だけでなく健康不安を解消する必要がある、そう考えて開発したもので、今後は「セコム・ホームセキュリティ」を中心に、家庭のあらゆる不安に対応できる「安心システム」として提供していきます。

この融合化と並行して、他社にないシステムをいち早く開発し、競合優位に立ち、マーケットを獲得すること。加えて、ITの活用で提供サービスとそれを支える社内システムのクオリティの向上とコストの削減を同時に実現することを重点戦略にしています。

これらにより、長期的には、世界に類のない「安心システム」を創り出し、製造業でもサービス業でもない全く新しい21世紀型産業を築き上げ、「困ったときはセコム」と人々から頼りにされる会社になることをめざします。



インターネットによる健康度チェックができる「かがやき健康パーク」



電話健康相談サービスを提供するセコムナースセンター



わが国初の「顔検知機能」を内蔵した「セキュリティフェイスインターホン」



わが国初のセンサー一体型防犯ガラス「SECOM あんしんガラス」

# 連結決算報告

## 中間連結貸借対照表(要旨)

(2003年9月30日現在)

単位:億円

|           |        |
|-----------|--------|
| 資 産 の 部   | 10,838 |
| 流動資産      | 3,887  |
| 現金及び預金    | 1,795  |
| コールローン    | 150    |
| 受取手形及び売掛金 | 271    |
| 未収契約料     | 168    |
| 有価証券      | 403    |
| たな卸資産     | 462    |
| 短期貸付金     | 411    |
| その他       | 225    |
| 固定資産      | 6,948  |
| 有形固定資産    | 2,627  |
| 建物及び構築物   | 901    |
| 警報機器及び設備  | 666    |
| 土地        | 875    |
| その他       | 184    |
| 無形固定資産    | 343    |
| 投資その他の資産  | 3,977  |
| 投資有価証券    | 2,189  |
| 長期貸付金     | 1,035  |
| 繰延税金資産    | 317    |
| その他       | 434    |
| 繰延資産      | 2      |
| 資産合計      | 10,838 |

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 負債の部            | 6,727  |
| 流動負債            | 2,484  |
| 支払手形及び買掛金       | 119    |
| 短期借入金           | 1,223  |
| 未払金             | 146    |
| 未払法人税等          | 171    |
| 前受契約料           | 306    |
| その他             | 517    |
| 固定負債            | 4,243  |
| 社債              | 318    |
| 長期借入金           | 430    |
| 預り保証金           | 286    |
| 退職給付引当金         | 410    |
| 保険契約準備金         | 2,752  |
| その他             | 45     |
| 少数株主持分          | 281    |
| 資本の部            | 3,829  |
| 資本金             | 663    |
| 資本剰余金           | 825    |
| 利益剰余金           | 2,851  |
| その他有価証券評価差額金    | 46     |
| 為替換算調整勘定        | 113    |
| 自己株式            | 443    |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 10,838 |

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 主な連結子会社の紹介

### セコム上信越㈱

1967年5月に設立された、新潟、長野、群馬の3県をエリアとする上信越地方最大のセキュリティ会社(本社・新潟市)。2002年2月に東証二部に株式を上場し、各種安全システム、安全商品の販売のほか、訪問介護サービスの提供など情報、教育、医療分野でも積極的に取り組み、「社会システム産業」の構築をめざしています。

### セコムテクノサービス㈱

1970年5月に設立。セコムの安全システムの工事を中心に、建築設備全般の設計から施工監理までの一貫したトータルサービスに加え、マンション向け安全管理システムの販売や空調・給排水を含めた各種ビル設備に関する保守・管理サービス、情報機器の設置・保守などを全国体制で提供しています。1999年10月、東証二部へ株式を上場。

### セコム医療システム㈱

2002年3月、セコムの医療事業部門を分割す

るとともに、セコム在宅医療システム(株)、セコムケアサービス(株)、セコム漢方システム(株)の3社を統合してセコム医療システム(株)としてスタート。医療事業統轄会社として医療事業の企画・統轄を行うとともに、医療・保健・福祉三位一体の、一貫したより質の高いサービスを提供しています。

### セコム損害保険㈱

1998年9月にグループ入りし、セコム東洋損害保険(株)として新たにスタート。2000年5月、セコム損害保険(株)へ社名を変更。日本初の現



## 中間連結損益計算書(要旨)

(2003年4月1日から2003年9月30日まで)

単位:億円

|              |       |
|--------------|-------|
| 売上高          | 2,466 |
| 売上原価         | 1,493 |
| 売上総利益        | 973   |
| 販売費及び一般管理費   | 599   |
| 営業利益         | 374   |
| 営業外収益        | 28    |
| 営業外費用        | 50    |
| 経常利益         | 352   |
| 特別利益         | 30    |
| 特別損失         | 23    |
| 税金等調整前中間純利益  | 358   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 168   |
| 法人税等調整額      | 4     |
| 少数株主利益       | 6     |
| 中間純利益        | 179   |

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

### 参考

- ・連結子会社数 126社
- ・持分法適用会社数 41社
- ・1株当たり中間純利益 79円79銭

場急行サービスが付加された自動車保険のほか、セキュリティと保険が一体となった火災保険セキュリティ割引や家庭総合保険、ガンを治すための自由診療保険など、これまでにないセコムならではの保険商品を発売しています。

セコムトラストネット(株)  
2000年4月、セコムネット(株)にグループのサイバーセキュリティ事業の経営資源を結集し、社名もセコムトラストネット(株)に変更。ネットワークの構築から、ウイルスや不正侵入などに

対する監視サービス、電子証明書の発行や認証局の運用業務を行う電子認証サービスのほか、高度な安全性を備えたセコムセキュアデータセンターを運営しています。

(株)パスコ  
1999年8月にグループ入りした、航空写真測量とGIS(地理情報システム)の分野でトップのシェアを持つ東証一部上場会社。官公庁を中心に計測技術、建設コンサルタント、情報システムの各事業を展開、欧米の計測・測量システム機器やGISソフトウェアの有力企業とも業務提

## 営業の概況(連結)

当中間連結会計期間の連結売上高は2,466億円(前年同期比74億円、3.1%の増収)、連結営業利益は374億円(前年同期比34億円、10.2%の増益)、連結経常利益は352億円(前年同期比32億円、10.1%の増益)、連結中間純利益は179億円(前年同期比20億円、12.9%の増益)となりました。

当グループの各事業の種類別売上高は次の通りとなっています。

### セキュリティサービス事業

1,790億円(前年同期比 3.9%増)

### メディカルサービス事業

104億円(前年同期比 11.2%増)

### 保険事業

144億円(前年同期比 24.1%減)

### 情報・通信・その他の事業

427億円(前年同期比 11.4%増)

### 連結売上高合計

2,466億円(前年同期比 3.1%増)

- 1.金額は外部顧客に対する売上高で、億円未満を切り捨てて表示しております。
- 2.保険事業の売上高および営業費用について、従来、積立保険の満期返戻金の支払に伴う責任準備金戻入相当額を売上高に、満期返戻金の支払額を営業費用に、それぞれ同額計上しておりましたが、取引の実態をより適切に表示するため、当中間連結会計期間より当該満期返戻金に係る売上高および営業費用を相殺表示することにいたしました。当中間連結会計期間における処理方法を前中間連結会計期間に適用した場合、前中間連結会計期間の売上高は140億円で、当中間連結会計期間の売上高144億円の前年同期比は3.1%増となります。

携し、グローバル市場で最も競争力のある体制を構築しています。

セコム  
西科姆中国グループ  
1992年12月設立(本社・北京市)、93年7月に日本企業初の持株会社としての認可を取得した西科姆中国有限公司は、中国グループの本社の役割を持っています。現在、大連、上海、北京、青島の4市において、各地の中国現地法人と合併でセキュリティ会社を設立。いずれもその地で初のオンライン安全システムを提供しています。

# 単体決算報告

## 中間貸借対照表(要旨)

(2003年9月30日現在)

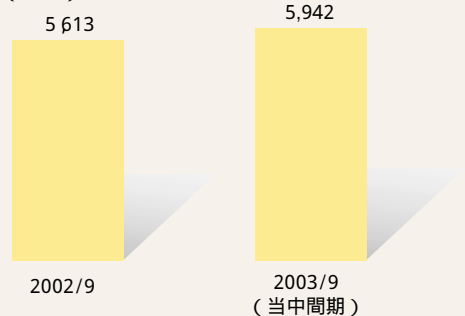
単位:億円

| 資 産 の 部   |       |
|-----------|-------|
| 流動資産      | 1,957 |
| 現金及び預金    | 1,062 |
| 未収契約料     | 84    |
| 売掛金       | 43    |
| 有価証券      | 79    |
| たな卸資産     | 76    |
| 短期貸付金     | 526   |
| その他       | 83    |
| 固定資産      | 3,985 |
| 有形固定資産    | 1,393 |
| 建物        | 278   |
| 警報機器及び設備  | 617   |
| 土地        | 420   |
| その他       | 76    |
| 無形固定資産    | 123   |
| 投資その他の資産  | 2,467 |
| 投資有価証券    | 488   |
| 子会社株式・出資金 | 1,343 |
| 長期貸付金     | 106   |
| 長期前払費用    | 197   |
| 繰延税金資産    | 165   |
| その他       | 166   |
| 資産合計      | 5,942 |

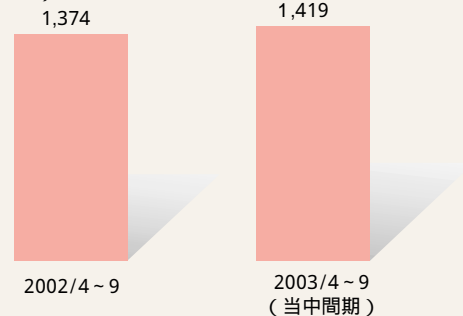
| 負 債 の 部  |       |
|----------|-------|
| 流動負債     | 1,350 |
| 買掛金      | 14    |
| 短期借入金    | 490   |
| 未払金      | 115   |
| 未払法人税等   | 124   |
| 預り金      | 284   |
| 前受契約料    | 219   |
| その他      | 101   |
| 固定負債     | 763   |
| 社債       | 300   |
| 長期借入金    | 23    |
| 退職給付引当金  | 271   |
| その他      | 168   |
| 負債合計     | 2,113 |
| 資本の部     |       |
| 資本金      | 663   |
| 資本剰余金    | 825   |
| 利益剰余金    | 2,769 |
| 株式等評価差額金 | 13    |
| 自己株式     | 443   |
| 資本合計     | 3,828 |
| 負債及び資本合計 | 5,942 |

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

総資産(億円)



売上高(億円)



## 中間損益計算書(要旨)

(2003年4月1日から2003年9月30日まで)

単位:億円

|              |       |
|--------------|-------|
| 売上高          | 1,419 |
| 売上原価         | 768   |
| 販売費及び一般管理費   | 326   |
| 営業利益         | 324   |
| 営業外収益        | 35    |
| 営業外費用        | 33    |
| 経常利益         | 325   |
| 特別利益         | 20    |
| 特別損失         | 24    |
| 税引前中間純利益     | 321   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 124   |
| 法人税等調整額      | 0     |
| 中間純利益        | 196   |
| 前期繰越利益       | 2,452 |
| 中間未処分利益      | 2,649 |

## 営業の概況(単体)

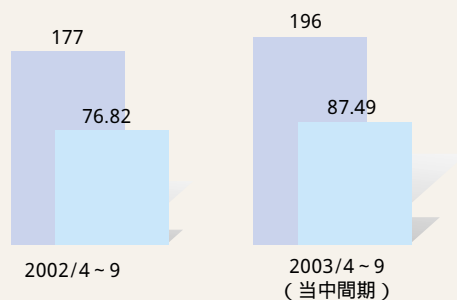
当中間期の売上高は1,419億円(前年同期比45億円、3.3%の増収)、営業利益は324億円(前年同期比32億円、11.3%の増益)、経常利益は325億円(前年同期比23億円、7.9%の増益)、中間純利益は196億円(前年同期比19億円、11.2%の増益)となりました。

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

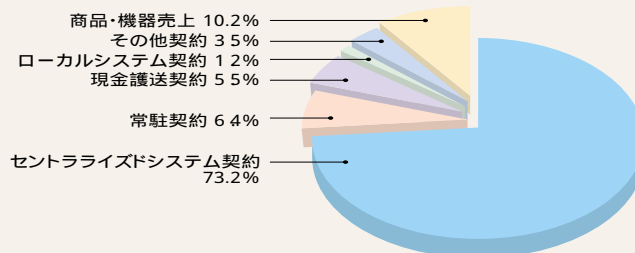
### 参考

- ・1株当たり中間純利益 87円49銭  
(期中平均株式数により算出しております)

中間純利益(億円)および1株当たり中間純利益(円)



部門別売上高内訳 2003/4~9(当中間期)



セコムは、セキュリティの普及を通じて培った情報通信ネットワークをベースに、企業や家庭、個人にとって安心で、快適で、便利なサービスシステムを創造し、それらをトータルに提供する「社会システム産業」の本格展開をめざしています。そのための各事業分野での活動のスピードは、今後、シナジーを発揮しながらますます加速していきます。

## セキュリティサービス事業

家庭用安全システム「セコム・ホームセキュリティ」を中心に、凶悪犯罪・健康不安から、家庭と家族を守るサービス機能を強化し、「家庭用安心システム」として本格始動していきます。

### 企業向けセキュリティ

快適で安心なマンションライフを実現する「セコムMS-3」  
2003年7月

大規模マンションや既築マンションのリニューアルにも対応可能なマンション用セキュリティシステム「セコムMS-3」を発売。従来のシステムをベースにセキュリティ機能を強化し、超高層や複数棟の大規模マンションを最大で3棟、4000住戸までの一括管理が可能です。

日本メックス(株)と提携し、設備の総合管理を本格展開  
2003年9月

セコムは、設備の総合管理(ファシリティマネジメント)のノウハウと実績を持つNTTグループの日本メックス(株)と業務提携し、中・大規模ビルでの管理をトータルにマネジメントする「セコム・セキュリティマネジメントサービス」の本格的な展開を開始しました。

### 家庭向けセキュリティ

家庭向け安全システムや商品を体感できる  
「セコムショップ成城」オープン  
2003年10月



「セコム・ホームセキュリティ」をはじめ、「SECOM あんしんガラス」セキュリティフェースインターホン」などの防犯機能強化商品を実際に体感できる「セコムショップ成城」が東京・世田谷にオープン。来場者からの家庭の安全・安心に関するご相談をお受けしています。

わが国初の「顔検知機能」を内蔵した  
「セキュリティフェースインターホン」発売  
2003年11月

押し込み強盗などの犯罪を防止する画期的なシステムとして、わが国で



初めて「顔検知機能」を内蔵したインターホンシステムとセコムの家庭用監視カメラシステムを一体化することにより、通知、監視、記録、制御などの機能をすべて備えたトータル画像監視システム「セキュリティフェースインターホン」を発売しました。

わが国初のセキュリティと医療サービスを  
一体提供する「セコム・メディカルクラブ」スタート  
2003年11月



11月15日から、「セコム・ホームセキュリティ」のご契約先を対象に、わが国で初めて家庭のセキュリティと医療サービスを一体的に提供する「セコム・メディカルクラブ」を開始。これによりセコムは、犯罪のみならず健康不安からも家庭と家族を守っていきます。

## メディカルサービス事業

わが国初の本格的な在宅医療サービスや遠隔画像診断支援サービスをはじめ、先進的な各種のメディカルサービスを提供していきます。

医療人材専門の紹介サービス会社  
「セコムメディカルリソース(株)」を設立  
2003年6月

セコム医療システム(株)の子会社として「セコムメディカルリソース(株)」を設立し、6月から医療人材紹介サービスを開始しました。同社では、民間企業で豊富な経験を積んだ優秀な人材を医療機関へ紹介し、患者の満足度向上やリスク管理など医療機関の経営強化を支援します。

「メディカル・リスクマネジメントシステム」を発売  
2003年7月

セコム医療システム(株)は、東北大学医学部附属病院との共同研究で多発する医療事故を徹底的に分析する「メディカル・リスクマネジメントシステム」を開発し、その販売を開始。システムを単に導入するだけでなく、医療機関での利用方法などについてもサポートします。



ト

わが国初の「セコム医用画像管理システム」を開発  
2003年7月



セコム医療システム(株)は、医療機関の画像診断装置のデジタル画像データをセコムセキュアデータセンターに保存管理し、フィルム管理や保存場所の確保が不要で再診時の検索を容易にした、わが国初のASP(共同利用)型「セコム医用画像管理システム」を開発しました。

「日本医療情報システム(株)」を買収し、予防医療事業に本格参入  
2003年8月

セコム医療システム(株)は、予防医療事業に本格的に参入するために、健康・予防医療分野で実績のある日本医療情報システム(株)(略称:JMIC)を買収。今後、同社が20年にわたり培ってきたデータベース、ノウハウ、人材、予防医療人脈などを積極的に活用していきます。

### 情報事業

物理的なセキュリティと並んで重要なネットワークのセキュリティを守るために、各種のサイバーセキュリティサービスを提供しています。

#### サイバーセキュリティ

(株)九電工と提携し、「セコム情報金庫」を拡販  
2003年7月

セコムは、九州・中国地方を拠点とした総合設備会社である(株)九電工と提携。両社が長年培ってきたセキュリティや各設備工事分野における技術・ノウハウを組み合わせ、わが国初の本格的な情報金庫「セコム情報金庫」の販売で協業することになりました。

セコムトラストネット(株)と(株)東京商工リサーチが  
電子認証サービスで業務提携  
2003年8月

セコムトラストネット(株)は、電子証明書発行サービス「セコムパスポート for Web」発行時のWebサイト運営企業の実在確認に、(株)東京商工リサーチ(TSR)の企業情報データベースサービスを採用。TSRは、同サービスのご契約先を中心に「セコムパスポート for Web」を販売することで業務提携しました。

ピ

ツ

ク

ス

わが国初の「ホームページ・セコムパック」を発売  
2003年8月

セコムトラストネット(株)は、コンテンツの改ざん、データの盗聴改ざんなどのホームページを取り巻く脅威への対策の一つであるWebサーバーのセキュリティ診断と、サーバー証明書(1年間)をパックサービスとした、わが国初のサービス「ホームページ・セコムパック」を販売しました。

セコムトラストネット(株)とNTTコミュニケーションズ(株)が  
新タイプのICカード社員証ソリューションの開発・販売で提携  
2003年11月

セコムトラストネット(株)とNTTコミュニケーションズ(株)は、大容量・多機能ICカードを活用し、サイバーセキュリティと入退室管理機能などのフィジカルセキュリティを融合させた「ICカード社員証ソリューション」の開発・販売について提携しました。

### 保険事業

セコムならではの考え方に基づく、新しいタイプの自動車保険や家庭総合保険、ガン治療費用保険などを次々に発売しています。

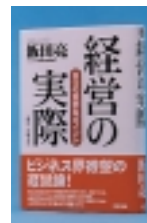
グレードアップされた自由診療保険「メディコム」  
2003年10月



セコム損害保険(株)の自由診療を補償するガン保険「メディコム」が、高度先進医療の技術料と健康保険診療の際の自己負担金も補償対象とし、今後は自由診療でも公的健康保険診療でも治療費の実額を補償する、グレードアップしたガン保険にリニューアルされました。

### その他トピックス

飯田最高顧問の最新刊「経営の実際」発刊  
2003年10月

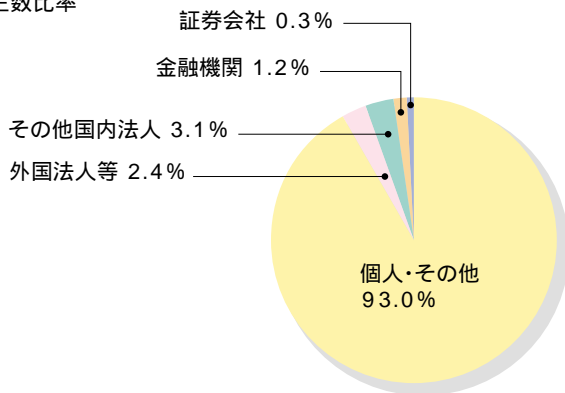


飯田亮最高顧問が、セコムの創業以来、自ら考え実践してきたセコムグループの経営理念について8つの重要なポイントをもとに解説しながら、わかりやすくまとめた単行本『経営の実際』(中経出版)が発刊され、ビジネスマンを中心に好評を博しています。

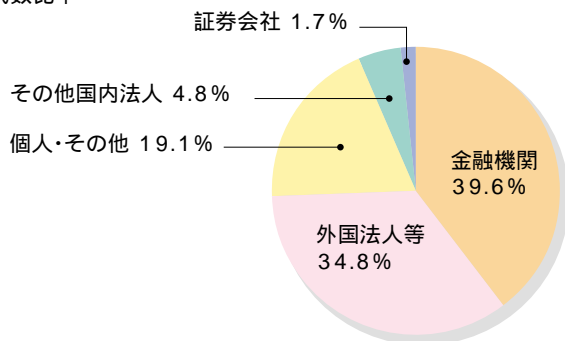
## 株式の状況 (2003年9月30日現在)

1. 会社が発行する株式の総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,281,133株
3. 1単元の株式数 500株
4. 株主数 21,238名
5. 所有者別状況

株主数比率



株式数比率



## 株主メモ

決算期 3月31日  
 定時株主総会 6月下旬  
 株主配当金支払株主確定日 3月31日  
 中間配当制度 なし  
 基準日 3月31日  
 (その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)  
 公告掲載新聞 日本経済新聞

〔日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を下記の当社のホームページに掲載しております。〕  
<http://www.secom.co.jp/bspl/>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部  
 大阪証券取引所市場第1部

名義書換代理人  
 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
 三菱信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所  
 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
 同連絡先(郵便物送付、電話照会)  
 〒171-8508 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号  
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話0120-707-696(フリーダイヤル)

## お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。
3. 2003年4月1日施行の商法改正により、「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決に基づく再発行手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会ください。

## 会社概要

### 資 本 金

66,368百万円

### 社員数(グループ総数)

34,607名

### 事業所数(グループ総数)

1,176カ所

### 事 業 内 容

1962年、日本初のセキュリティ会社として創業。1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭から店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設までさまざまな施設に普及しています。2001年4月からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備や現金護送システム、各種安全商品などの販売を通じて、社会に安全・安心を提供しています。

セコムグループは、現在、安全システムの普及を通じて培ってきた日本最大級の情報通信ネットワークをベースに、安心で、便利で、快適なサービス・システムを創造し、複合的・融合的に提供する「社会システム産業」の構築をめざしています。

## ホームページのご案内

会社情報・IR情報などは

<http://www.secom.co.jp/>

商品・サービスのご案内、セコムの食などは

<http://www.secomtown.com/>

## 役員

(2003年11月30日現在)

|           |        |
|-----------|--------|
| 取締役(最高顧問) | 飯田 亮   |
| 取締役(最高顧問) | 戸田 壽一  |
| 取締役会長     | 杉町 壽孝  |
| 代表取締役社長   | 木村 昌平  |
| 取締役副社長    | 原口 兼正  |
| 専務取締役     | 佐々木 信行 |
| 常務取締役     | 桑原 勝久  |
| 常務取締役     | 小林 清一郎 |
| 常務取締役     | 田中 重實  |
| 常務取締役     | 懸 昇一   |
| 常務取締役     | 前田 修司  |
| 常務取締役     | 秋山 勝夫  |
| 取締役       | 田尾 陽一  |
| 取締役       | 森 誠一   |
| 取締役       | 山中 征二  |
| 取締役       | 飯田 志農夫 |
| 取締役       | 井東 雄志郎 |
| 取締役       | 小幡 文雄  |
| 取締役       | 伊藤 博   |
| 取締役       | 小河原 俊二 |
| 取締役       | 才田 正明  |
| 取締役       | 杉井 清昌  |
| 監査役(常勤)   | 荻野 輝雄  |
| 監査役       | 常松 健   |
| 監査役       | 安田 弘   |
| 監査役       | 山下 耕平  |